

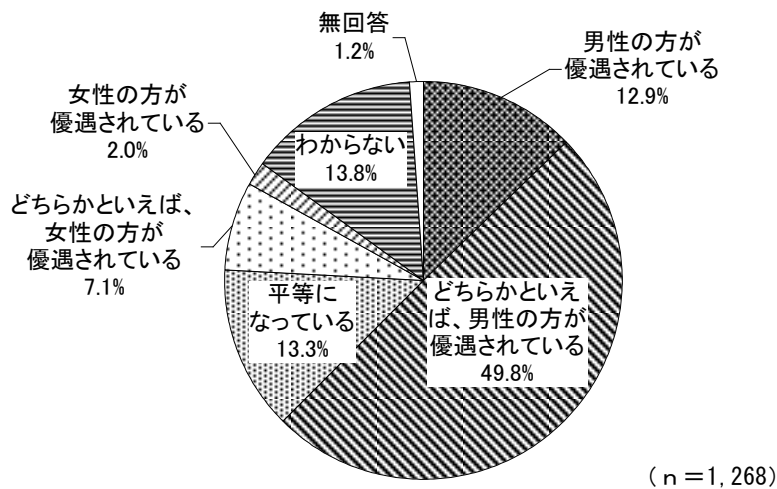
## 8 男女平等意識について

### (1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

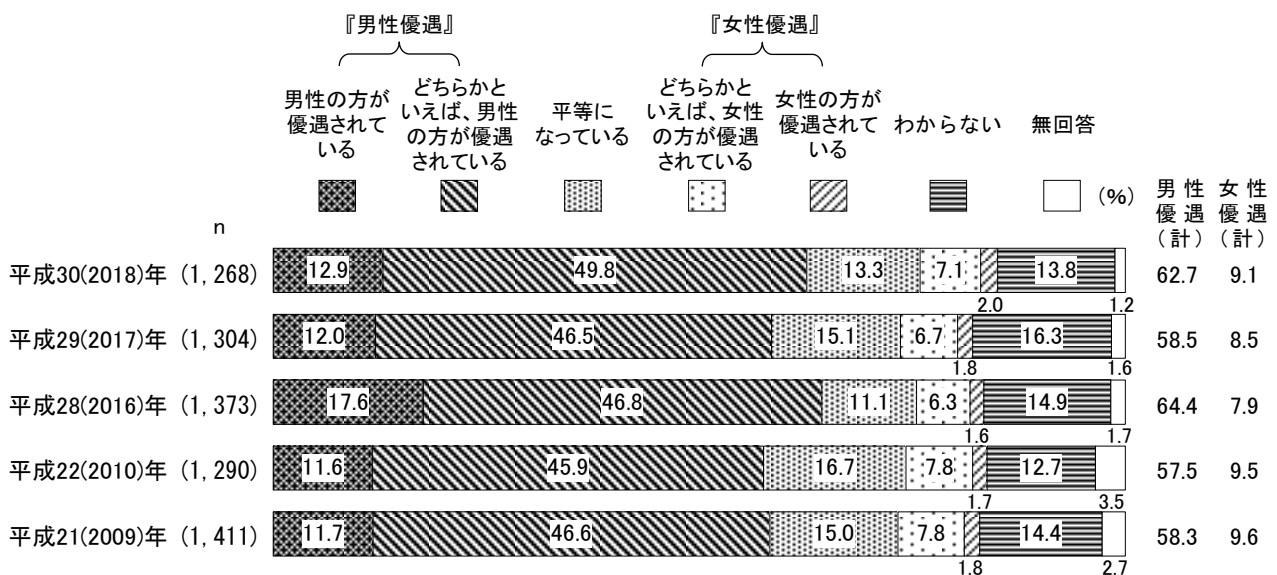
問19 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,268]

|   |                       |       |   |              |       |
|---|-----------------------|-------|---|--------------|-------|
| 1 | 男性の方が優遇されている          | 12.9% | 5 | 女性の方が優遇されている | 2.0%  |
| 2 | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 49.8% | 6 | わからない        | 13.8% |
| 3 | 平等になっている              | 13.3% |   | (無回答)        | 1.2%  |
| 4 | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 7.1%  |   |              |       |

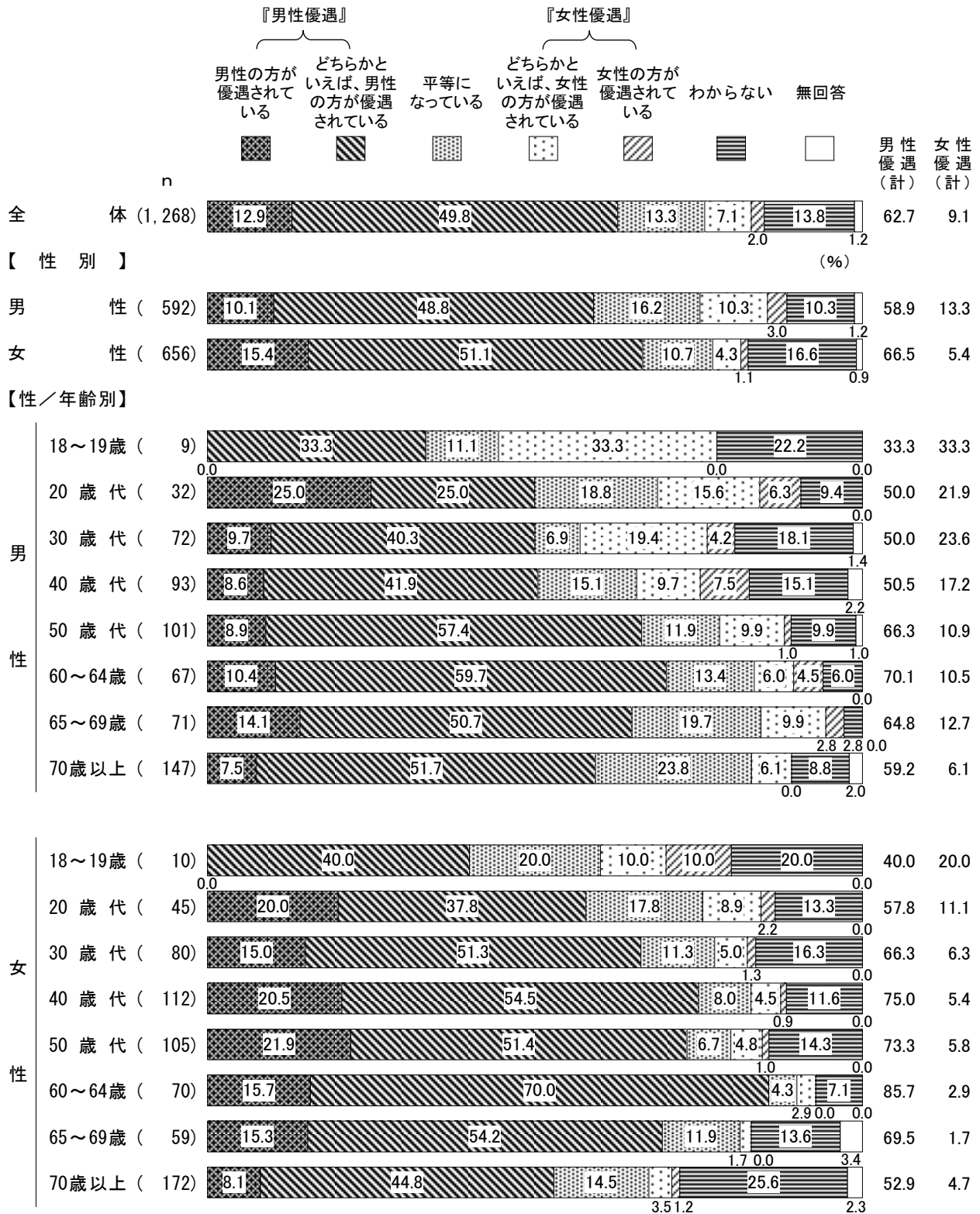


全体でみると、「男性の方が優遇されている」(12.9%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(49.8%)の2つを合わせた『男性優遇』(62.7%)は6割を超えている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(7.1%)と「女性の方が優遇されている」(2.0%)の2つを合わせた『女性優遇』(9.1%)はほぼ1割となっている。また、「平等になっている」(13.3%)は1割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『男性優遇』が平成29(2017)年より4.2ポイント増加している。

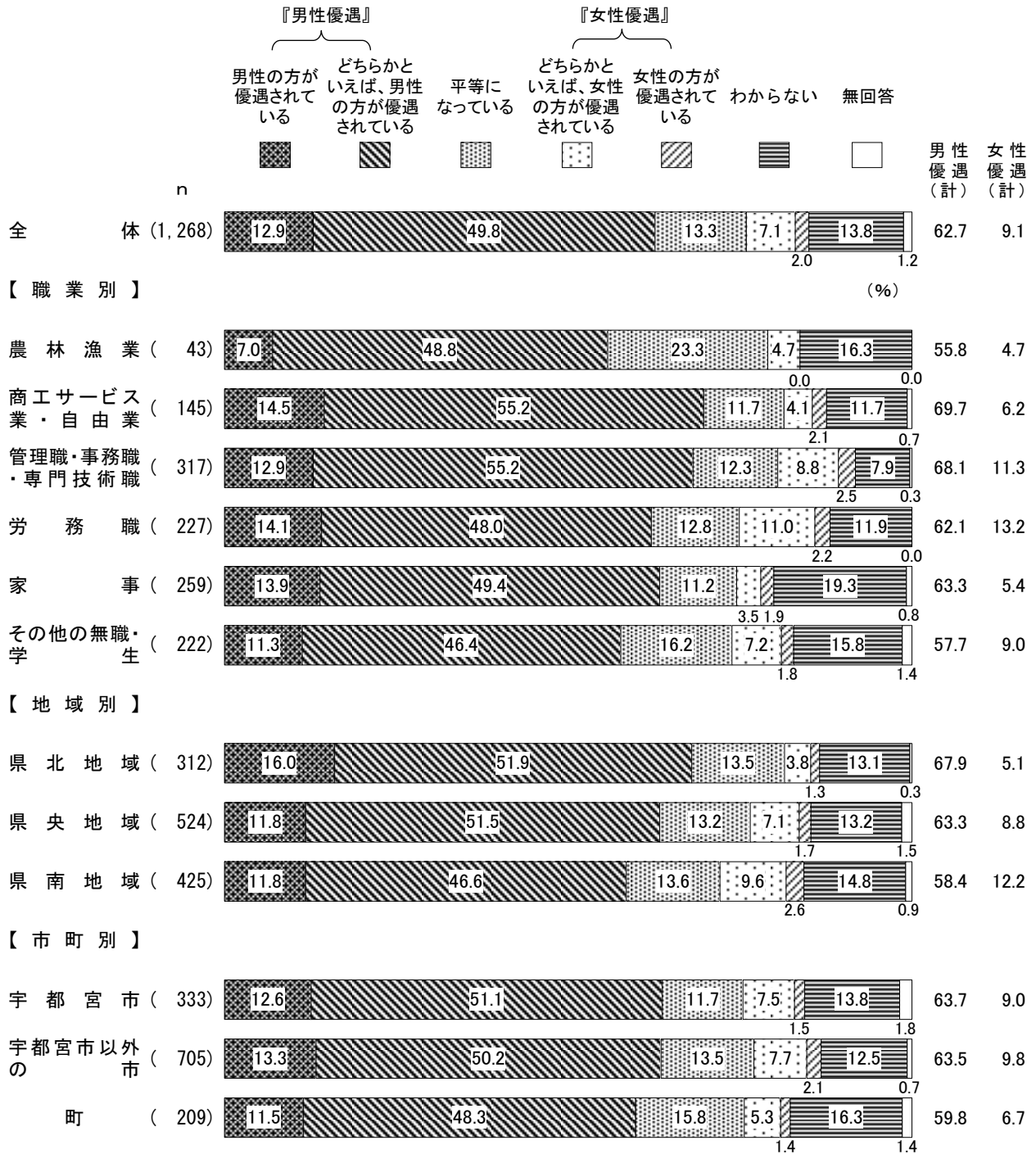
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(66.5%)が〈男性〉(58.9%)より7.6ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(13.3%)が〈女性〉(5.4%)より7.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性60~64歳〉が85.7%、〈女性40歳代〉が75.0%、〈女性50歳代〉が73.3%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性30歳代〉が23.6%、〈男性20歳代〉が21.9%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『男性優遇』では〈商工サービス業・自由業〉が69.7%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が68.1%と高くなっている。

地域別でみると、『男性優遇』では〈県北地域〉が67.9%と高くなっている。

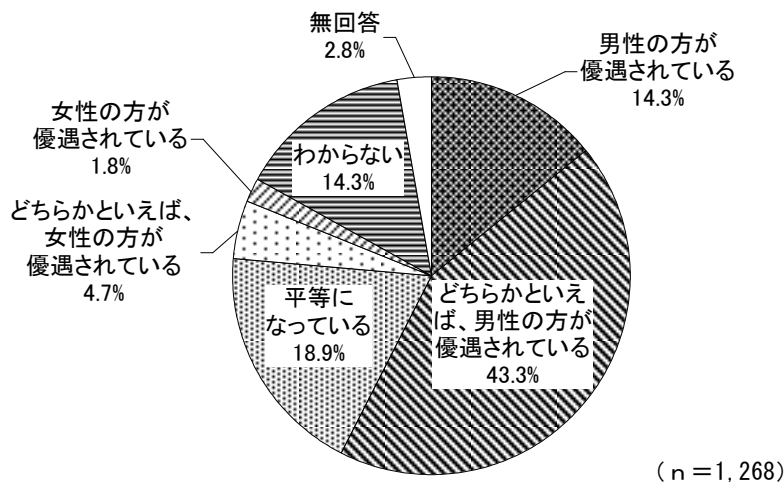
市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

## (2) 働く場での男女の地位の平等感

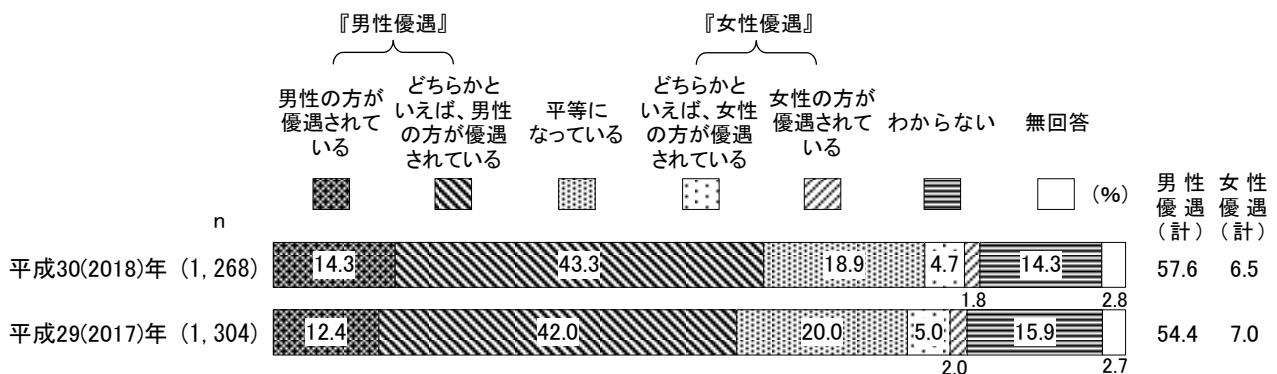
問20 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)

[n = 1, 268]

|   |                       |       |       |              |      |
|---|-----------------------|-------|-------|--------------|------|
| 1 | 男性の方が優遇されている          | 14.3% | 5     | 女性の方が優遇されている | 1.8% |
| 2 | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 43.3  | 6     | わからない        | 14.3 |
| 3 | 平等になっている              | 18.9  | (無回答) |              | 2.8  |
| 4 | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 4.7   |       |              |      |

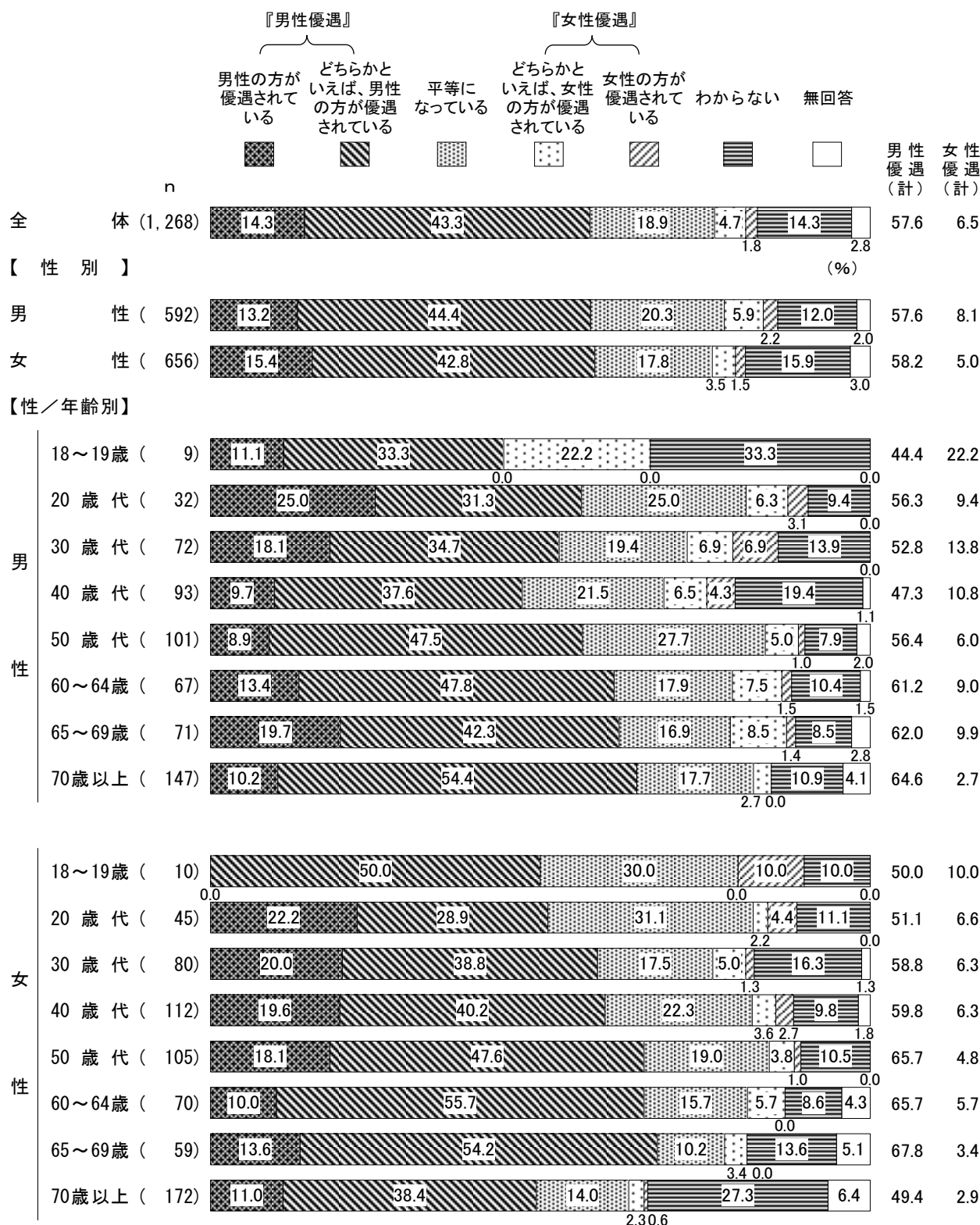


全体でみると、「男性の方が優遇されている」(14.3%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(43.3%)の2つを合わせた『男性優遇』(57.6%)は6割近くとなっている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(4.7%)と「女性の方が優遇されている」(1.8%)の2つを合わせた『女性優遇』(6.5%)は1割近くとなっている。また、「平等になっている」(18.9%)は2割近くとなっている。



平成29 (2017) 年の調査結果と比較すると、『男性優遇』が平成29 (2017) 年より3.2ポイント増加している。

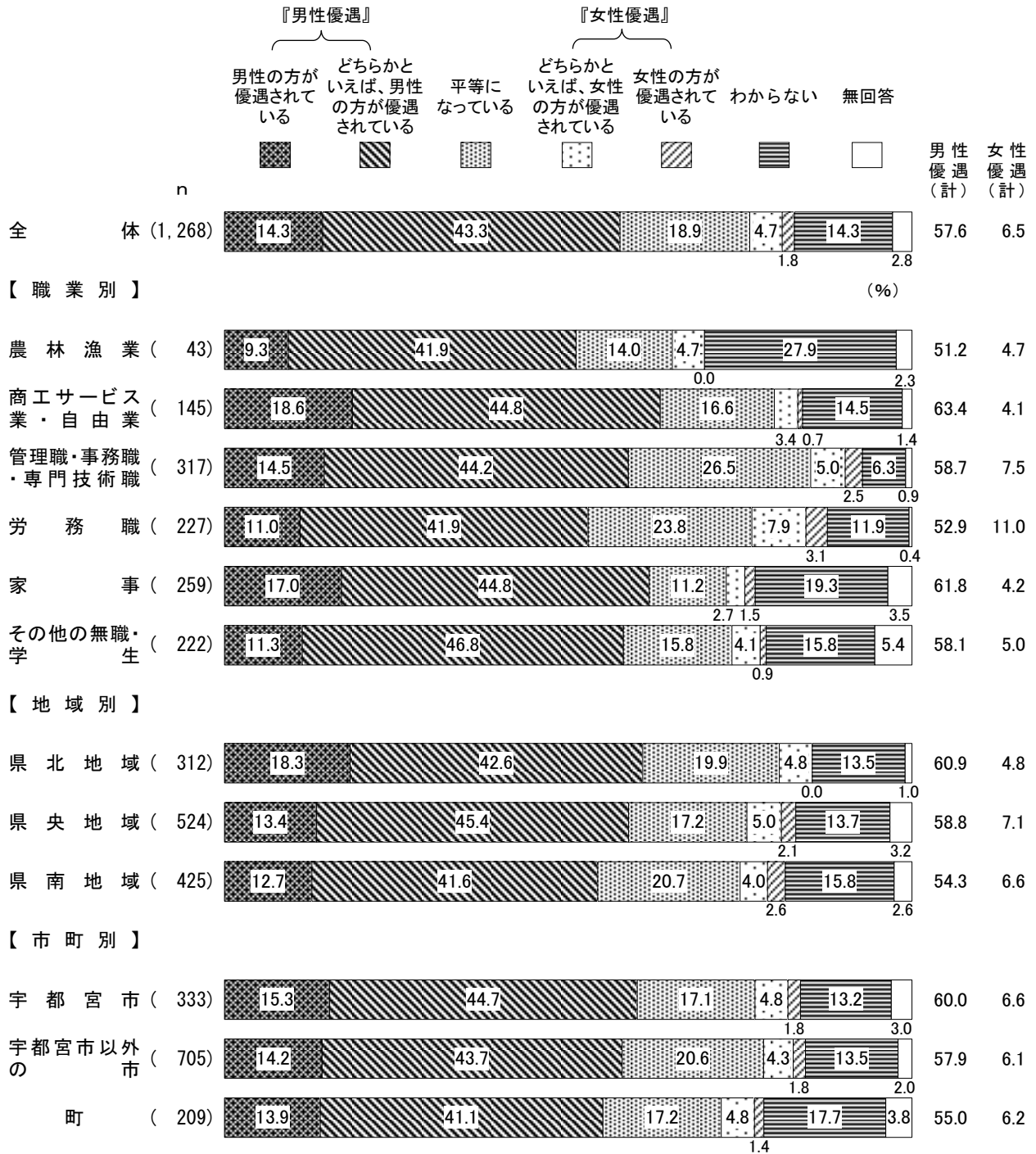
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『女性優遇』では〈男性〉(8.1%)が〈女性〉(5.0%)より3.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性65～69歳〉が67.8%、〈女性50歳代〉と〈女性60～64歳〉がともに65.7%、〈男性70歳以上〉が64.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



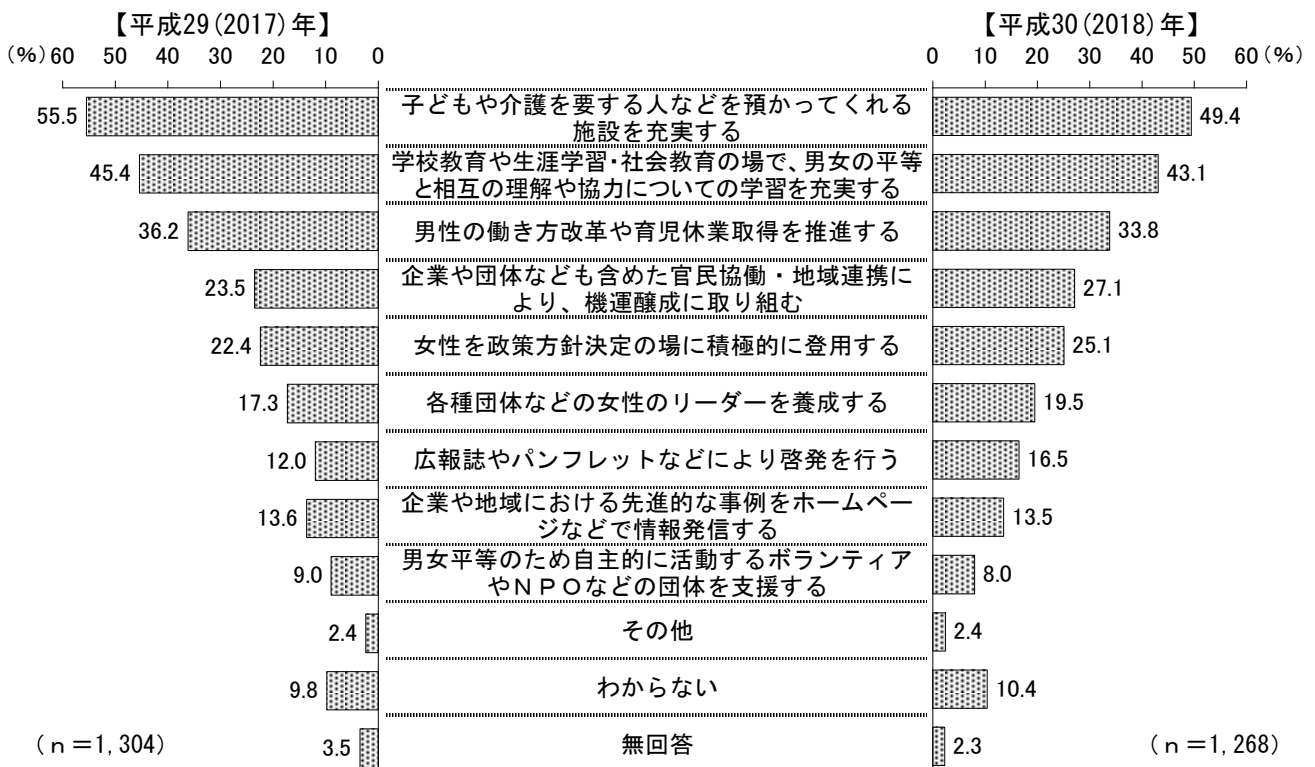
職業別で見ると、『男性優遇』では〈商工サービス業・自由業〉が63.4%と高くなっている。  
 地域別で見ると、『男性優遇』では〈県北地域〉が60.9%と高くなっている。  
 市町別で見ると、『男性優遇』では〈宇都宮市〉が60.0%と高くなっている。

### (3) 男女平等な社会を推進していくための県の取組

問21 あなたは、今後さらに男女平等な社会を推進していくために、県はどのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,268]

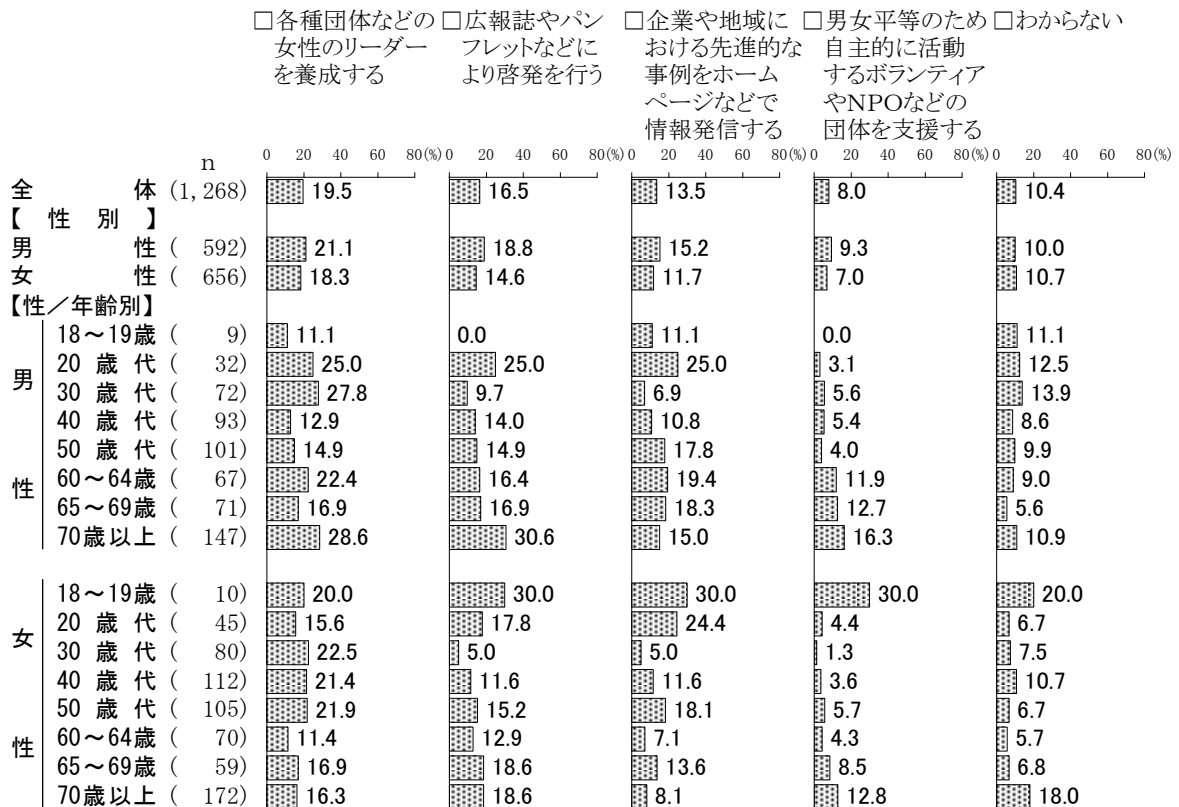
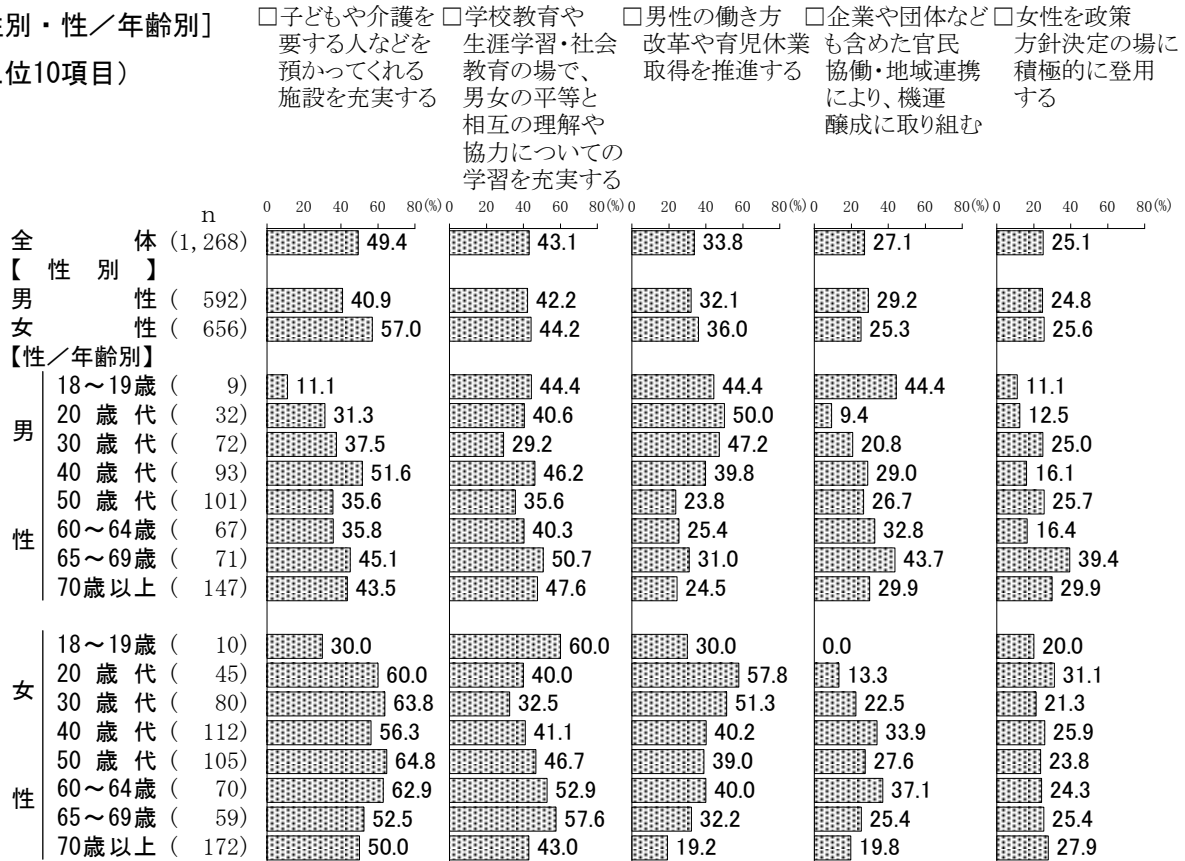
|    |  |       |
|----|--|-------|
| 1  | 広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う                         | 16.5% |
| 2  | 企業や地域における先進的な事例をホームページなどで情報発信する              | 13.5  |
| 3  | 学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 43.1  |
| 4  | 企業や団体なども含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む            | 27.1  |
| 5  | 女性を政策方針決定の場に積極的に登用する                         | 25.1  |
| 6  | 各種団体などの女性のリーダーを養成する                          | 19.5  |
| 7  | 男女平等のため自主的に活動するボランティアやNPOなどの団体を支援する          | 8.0   |
| 8  | 男性の働き方改革や育児休業取得を推進する                         | 33.8  |
| 9  | 子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する                 | 49.4  |
| 10 | その他  | 2.4   |
| 11 | わからない  | 10.4  |
|    | (無回答)  | 2.3   |



全体でみると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」(49.4%)がほぼ5割で最も高く、次いで「学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」(43.1%)、「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」(33.8%)、「企業や団体なども含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む」(27.1%)の順となっている。

平成29(2017)年の調査と比較すると、「広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う」が4.5ポイント、「企業や団体なども含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む」が3.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」が6.1ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]  
(上位10項目)



性別でみると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」では〈女性〉(57.0%)が〈男性〉(40.9%)より16.1ポイント高くなっている。

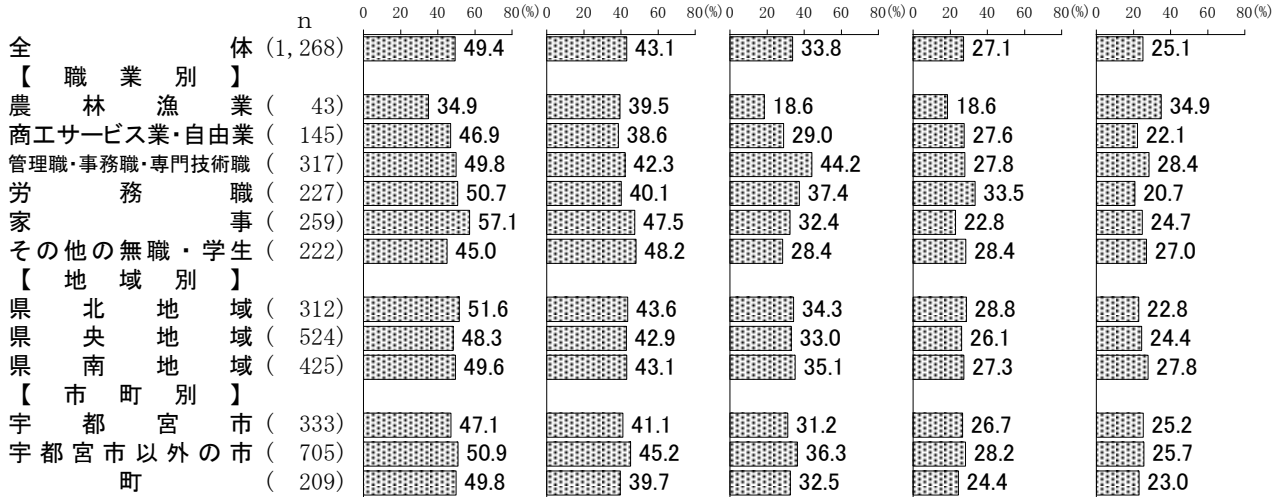
性／年齢別でみると、「子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する」では〈女性50歳代〉が64.8%、〈女性30歳代〉が63.8%と高くなっている。「学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」では〈女性65～69歳〉が57.6%と高くなっている。「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」では〈女性20歳代〉が57.8%と高くなっている。



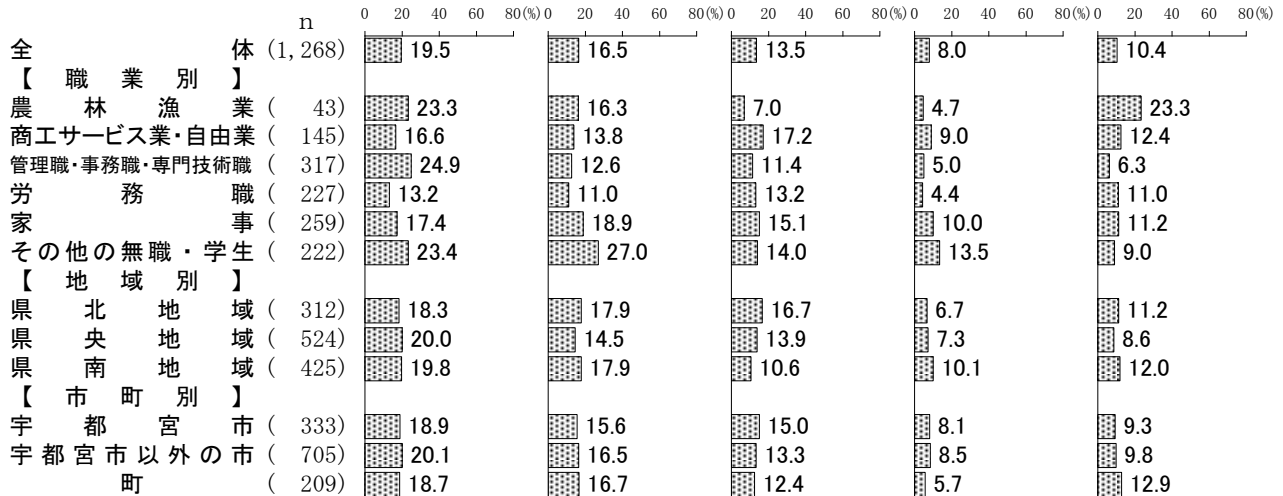
[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)

- 子どもや介護を要する人などを預かってくれる施設を充実する
- 学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
- 男性の働き方改革や育児休業取得を推進する
- 企業や団体なども含めた官民協働・地域連携により、機運醸成に取り組む
- 女性を政策方針決定の場に積極的に登用する



- 各種団体などの女性のリーダーを養成する
- 広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う
- 企業や地域における先進的な事例をホームページなどで情報発信する
- 男女平等のために自主的に活動するボランティアやNPOなどの団体を支援する
- わからない



職業別でみると、「男性の働き方改革や育児休業取得を推進する」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が44.2%と高くなっている。「女性を政策方針決定の場に積極的に登用する」では〈農林漁業〉が34.9%と高くなっている。「広報誌やパンフレットなどにより啓発を行う」では〈その他の無職・学生〉が27.0%と高くなっている。

地域別でみると、「女性を政策方針決定の場に積極的に登用する」では〈県南地域〉が27.8%と高くなっている。

市町別でみると、「学校教育や生涯学習・社会教育の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」では〈宇都宮市以外の市〉が45.2%と高くなっている。